PMC®

PMC6
PMC6-2
PMC8-2
PMC8 SUB
PMC8-2 SUB

THE BAR HAS BEEN RAISED

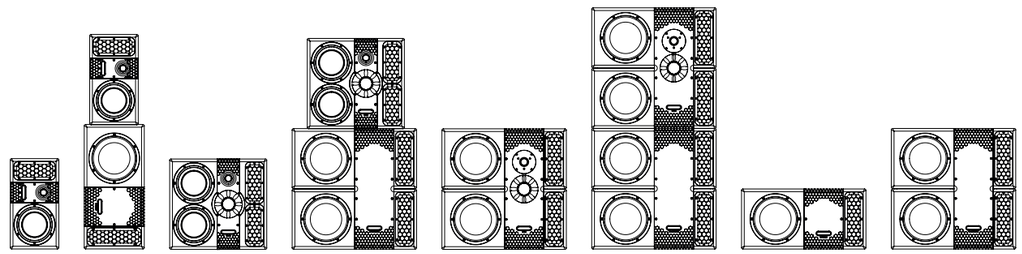
TRUE

違いの分かるミュージックメイカーたちは PMC のモニターを絶対的なリファレンスと見なしています。PMC のスピーカーは、コンポーザーからレコーディング / ミキシングやポストプロダクション / マスタリング、そしてブロードキャストに至るまで、オーディオチェーン全体で使用されています。科学的なレベルとも言えるディテールを提供しますので、ユーザーは完成したミックスが技術的にも感情的にもどこにでも正しく伝わる確信を持って、素早く疲れずに作業することができます。コンパクトなニアフィールドから大型メインモニターまであらゆる PMC モニターは、超低歪と伸びる低域、スムーズで極めて広いディスパージョンが特徴となっています。

定評ある PMC モニターの柔軟性と信頼性は、全体のパフォーマンスに与える影響を、すべてのパーツレベルに至るまで入念に追求する設計プロセスの成果です。アクティブ・リファレンス・ニアフィールドとミッドフィールドの最新世代 PMC6、PMC6-2、PMC8-2、そしてその関連サブウーファー PMC8 SUB と PMC8-2 SUB も含めて、PMC が製造するあらゆるモデルにこのアプローチが採用されています。

5 年以上の研究開発時間をかけ、PMC コミュニティから貴重なインプットも得ながら、完全に新たに設計されたこの英国産モニターは、ステレオからイマーシブサウンドまでの多様なフォーマットで作業するレコーディング / ミキシング / マスタリングやブロードキャストのプロフェッショナルを対象としています。このシリーズには、新規ドライブユニットや最新鋭クラス D アンプ、DSP 制御クロスオーバー、そして PMC 特許の ATL™ ベースローディングおよび Laminair™ エアフロー技術の最新世代を含む数多くのイノベーションが詰め込まれています。デジタル接続が可能で、SoundAlign インターフェース（PC/Mac）から設定できるこの拡張可能なシステムには、マルチチャンネル / イマーシブシステム用のスタンドアローンとして、あるいは低域レスポンスを拡張しヘッドルームを高める PMC 独自の XBD 構成を作るために、アクティブサブウーファーを追加することができます。

ステレオや最新のイマーシブなフォーマットでの曲作りやレコーディング / ミキシング / マスタリングのいずれにおいても、ユーザーは最短時間で最良の結果を確実に得られるようになります。



“ 確信を持って、より速く、疲れることなく作業できます ”

PMC6

コンパクトで信頼できるリファレンスモニターの決定版を求めているプロフェッショナルには PMC6 アクティブ 2 ウェイがお薦めです。イノベーションを満載し、定評ある PMC 大型モニターと同じ特徴的なサウンドをお届けする本機は、小規模なコントロールルームや大型のイマーシブシステムに最適で、ユーザーはその驚異的な解像度により、重要なミックスの決定を絶対的な自信を持って行うことができます。

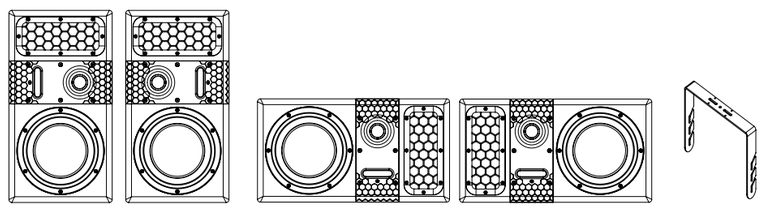
20 mm の可動域を持つ専用 6" ベースドライバーは PMC 最新 ATL™ ベースローディングおよび Laminair™ エアフロー技術と一体化されるように特別に設計されています。この組み合わせは大半の 8" モニターを凌ぐものであり、優れた低音の伸びとヘッドルーム、ダイナミクス、そしてあらゆる音量での低歪を実現します。入念に設計された浅いウェーブガイドを持つファブリック 1" ソフトドームツイーターが生み出すハイエンドは、広く一貫した音の広がりと揺るぎないイメージングを実現しています。ベースとトレブルの両ドライバーは超低歪かつ高ダンピングファクタの 200 W クラス D アンプのペアによって精密に個別制御されます。

縦置きまたは横置きであっても、本機の洗練された DSP エンジンがクロスオーバーを自動調節して正確な音色を提供し、位相とイメージングを確実に最適化します。

本機はリアパネルのコントロールまたは PMC 製の直感的なブラウザベース SoundAlign ソフトウェアを使って較正できます。

PMC8 SUB を追加することで本機はフルレンジの自立した PMC6 XBD システムへとアップグレード可能です。「XBD」DSP モードを稼動することで 2 つのユニットは完璧に結びつき、低域は 25 Hz までクリーンに伸びます。

- ATL™ ベースローディング搭載アクティブ 2 ウェイ・ニアフィールド・リファレンスモニター
- 周波数特性：39 Hz ～ 25 kHz（-3 dB、1 m フルスペース、軸上にて）
- 最大連続音圧レベル：1 m 位置にて 106 dB（フルスペース測定から +3 dB として算出したハーフスペース値。非聴感補正入力、12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間）
- 最新鋭のクラス D アンプ：HF 200 W、LF 200 W
- アナログ /AES3 デジタル入力（16/24 ビット、18 ～ 192 kHz サンプルレート）
- デジタル「スルー」出力（AES3 24 ビット 96 kHz）
- 単一またはグループ EQ および設定用の SoundAlign ネットワーク制御インターフェース
- 洗練された DSP クロスオーバー、ドライバー保護、EQ、ディレイ / 極性選択
- 縦置き / 横置きの自動 DSP 補正
- PMC6 ＋ PMC8 SUB ＝低域が 25 Hz まで伸びた PMC6 XBD
- マルチチャンネルまたはイマーシブシステムでの吊り下げ設置を可能にするシーリングマウントヨーク



PMC6（左側、縦置き） PMC6（右側、縦置き） PMC6（左側、横置き） PMC6（右側、横置き） YOKE 18（シーリングマウント）

PMC6-2

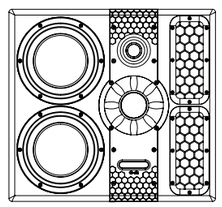
PMC6-2 は、どんなコントロールルームやイマーシブシステムにも簡単にフィットする本格的なニア / ミッドフィールド・モニタリングツールで、その卓越した透明感、科学的な解像度、そして強烈なインパクトで他を圧倒しています。メインモニターとしてのスケール感、奥行きとダイナミクスを提供し、ミックスの決定を迅速に、絶対的な確信を持って、疲れずに行うことができます。

この 3 ウェイ・アクティブモニタースピーカーは 2 つのカスタム 6" インチ・ロングスローベースドライバーを、新設計の PMC55 2" ソフトドームミッドレンジユニットならびに精密加工された 1" ソフトドームツイーターと組み合わせています。PMC55 の特徴的な「N-compass」ウェーブガイドはドライバーの広いディスパージョンと優れたメッドレンジのプロジェクションをさらに改善し、高性能ツイーターとの組み合わせにより、滑らかで自然なレスポンスを持つ、非常にワイドで安定した音像を実現しています。各ベースドライバーは最新鋭の 400 W クラス D アンプによって個別に駆動され、洗練された高精度 DSP ベースのクロスオーバーによってシームレスに一体化されています。PMC6 と同様に、リアパネルのコントロールまたはブラウザベースの SoundAlign ソフトウェアを使用して、モニターを設定し、包括的なバウンダリと EQ オプションを備えています。

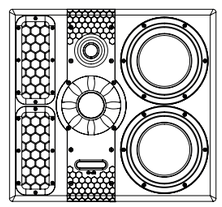
優れた低域の伸びとあらゆるリスニング音量におけるムラのない音色バランスを生み出す ATL™ ベースローディング技術のおかげで、本機の性能はその筐体寸法からは想像できないほど驚異的なものです。六角形の通気口に見ることのできる PMC の Laminair™ エアフロー技術がカラーレーションをさらに低減し、ダイナミクスと効率を改善します。

シンプルなアップグレードによって本機はフルレンジの XBD システムになります。PMC8-2 SUB を追加して XBD モードを選択するだけでこの 2 つのユニットは完璧に組み合わされ、レスポンスは 25 Hz まで伸び、ヘッドルームが増加されます。

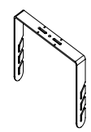
- ATL™ ベースローディング搭載アクティブ 3 ウェイ・ニアフィールド・リファレンスモニター
- 周波数特性：33 Hz ～ 25 kHz（-3 dB、1 m フルスペース、軸上にて）
- 最大連続音圧レベル：1 m 位置にて 109 dB（フルスペース測定から +3 dB として算出したハーフスペース値。非聴感補正入力、12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間）
- 最新鋭のクラス D アンプ：HF 400 W、MF 400 W、LF 400 W × 2
- アナログ /AES3 デジタル入力（16/24 ビット、18 ～ 192 kHz サンプルレート）
- デジタル「スルー」出力（AES3 24 ビット 96 kHz）
- 単一またはグループ EQ および設定用の SoundAlign ネットワーク制御インターフェース
- 洗練された DSP クロスオーバー、ドライバー保護、EQ、ディレイ / 極性選択
- PMC6-2 ＋ PMC8-2 SUB ＝ LF が 25 Hz まで伸びヘッドルームが増える PMC6-2 XBD
- マルチチャンネルまたはイマーシブシステムでの吊り下げ設置を可能にするシーリングマウントヨーク



PMC6-2
（左側）



PMC6-2
（右側）



YOKE 18
（シーリングマウント）

PMC8-2

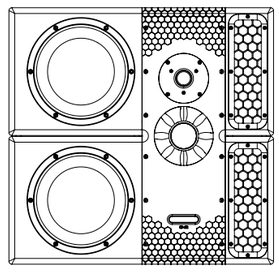
大きめのキャビネットと強力な 8" ロングスロー・ベースドライバーのペア、そして広いダイナミックレンジを持つ PMC8-2 アクティブ 3 ウェイ・スタジオモニターは、大規模なスコアリングセッションやポストプロダクション、マスタリングのような要求の極めて厳しい環境において厳格なリファレンスモニタリングが行えるように設計されています。他の PMC スピーカーと同様に、その非常に安定した指向性とトーンバランスにより、PMC8-2 は小型の PMC スピーカートと簡単かつシームレスに組み合わせて、より大きなマルチチャンネルシステムやイマーシブシステムを構築することができます。

2 個のベースドライバーは、PMC6-2 で用いられているのと同じ PMC55 ミッドレンジユニットや DSP システム、400 W クラス D アンプの 4 チャンネルと組み合わされています。また、本機はリアパネルから直接、もしくはコンピューターやタブレットからブラウザベースの SoundAlign ソフトウェアを使って設定が可能です。

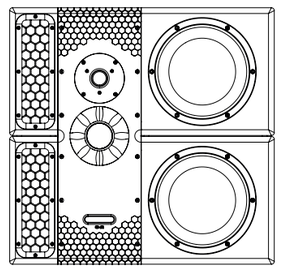
精密に調整された ATL™ キャビネットと六角形の Laminair™ 通気口を備えと、PMC8-2 はメインのリファレンスモニターに迫る驚異的なパフォーマンスを発揮します。25 Hz までのスムーズで安定した低域レスポンス、明瞭な中音域、広く安定したサウンドステージングなど、メインのリファレンスモニターに迫る驚異的なパフォーマンスを実現しています。本シリーズの他のモデルと同様に、PMC8-2 の優れた解像度、忠実さ、ダイナミクス、低音の正確さは、ミックスの決定を自信を持って素早く行うことを可能にし、長時間のセッションでも聴き疲れしません。

本機に PMC8-2 SUB を追加することで、システムの低音のヘッドルームが 6 dB 高まる XBD システムにアップグレード可能です。理想的なリスニング高さに配置するために本機と PMC8-2 XBD システムには高低 2 種類の専用フロアスタンドが用意されています。

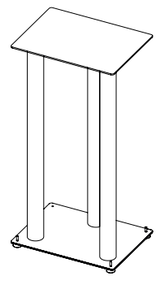
- ATL™ ベースローディング搭載アクティブ 3 ウェイ・ニアフィールド・リファレンスモニター
- 周波数特性：25 Hz ～ 25 kHz（-3 dB、1 m フルスペース、軸上にて）
- 最大連続音圧レベル：1 m 位置にて 113 dB（フルスペース測定から +3 dB として算出したハーフスペース値。非聴感補正入力、12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間）
- 最新鋭のクラス D アンプ：HF 400 W、MF 400 W、LF 400 W × 2
- アナログ /AES3 デジタル入力（16/24 ビット、18 ～ 192 kHz サンプルレート）
- デジタル「スルー」出力（AES3 24 ビット 96 kHz）
- 単一またはグループ EQ および設定用の SoundAlign ネットワーク制御インターフェース
- 洗練された DSP クロスオーバー、ドライバー保護、EQ、ディレイ / 極性選択
- PMC8-2 ＋ PMC8-2 SUB ＝ヘッドルームが 6 dB まで高まる PMC8-2 XBD
- PMC8-2（40"）および PMC8-2 XBD（19"）向け専用スタンド（オプション）



PMC8-2
（左側）



PMC8-2
（右側）



STAND
（PMC8-2 用 40" スタンド）

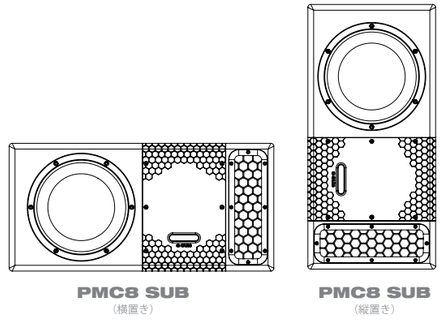
PMC8 SUB

PMC8 SUB はスピーカーシステムの低域レスポンスを伸ばす真の低周波数リファレンスモニターであり、どのようなセットアップにも PMC の特色である極めてクリーンで高スピードなローエンドを提供します。本機は従来のマルチチャンネルシステム内のコンパクトなスタンドアローンのサブウーファーとして、あるいは XBD キャビネット（およびスタンド）として使用でき、フルレンジの PMC6 XBD ミッドフィールドモニターにすることができます。この場合、専用の DSP モード「XBD」により、スピーカーとサブユニットが一体となり、まとまりのあるフルレンジシステムを実現します。

PMC のサブウーファーはマルチチャンネルシステムやイマーシブシステムにも最適です。ATL™ バスローディング技術により、従来のポート付きキャビネットよりも低次の LF ロールオフが緩やかになり、ハイトチャンネル、サラウンドチャンネルとハサブユニットがよりスムーズかつシームレスに統合されます。

300 W のクラス D アンプ 1 台で駆動されるカスタムメイド 8" ロングスロー・ベースドライバーを 1 個備える本機は、PMC の他のアクティブモデルと同じ強力な DSP エンジンによって制御されます。DSP 機能には洗練された室内境界補正 EQ やパラメトリック EQ、ディレイ、位相反転、独自の XBD モードがあり、すべては本機のリアパネルあるいはブラウザベースの SoundAlign ソフトウェアを用いて設定されます。

- 8" ベースドライバー 1 個と ATL™ ベースローディングを備えたアクティブサブウーファー
- 周波数特性：25 Hz ～ 500 Hz（-3 dB、1 m フルスペース、軸上にて）
- 最大連続音圧レベル：1 m 位置にて 109 dB（ハーフスペース測定から +3 dB として算出したクオータースペース値。非聴感補正入力、12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間）
- 最新鋭のクラス D アンプ：LF 300 W × 1
- アナログ /AES3 デジタル入力（16/24 ビット、18 ～ 192 kHz サンプルレート）
- デジタル「スルー」出力（AES3 24 ビット 96 kHz）
- 単一またはグループ EQ および設定用の SoundAlign ネットワーク制御インターフェース
- 洗練された DSP ドライバー保護、EQ、ディレイ / 極性選択
- 専用の XBD 設定モード



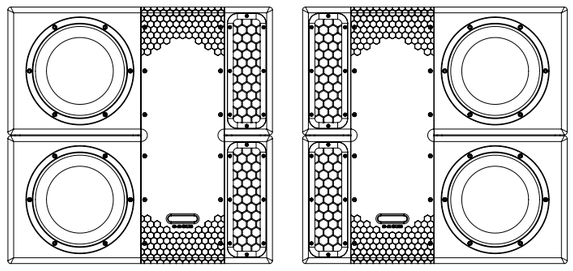
PMC8-2 SUB

PMC8-2 SUB は極めて要求の厳しいプロフェッショナルな環境におけるフル帯域幅の高解像度リファレンスモニタリング向けの大型サブウーファーです。PMC8 SUB と同様に真の低周波数モニターであり、同じ DSP エンジンを持ちサラウンド / イマーシブシステムとシームレスに一体化できる本機は、PMC8 SUB よりも高い性能を有し、より高い最大音圧レベル出力を 25 Hz まで提供します。

PMC8-2 ミッドフィールドモニターと同じキャビネットサイズを持つ PMC8-2 SUB は、2 つの 8" ベースドライバーを独立した 400W クラス D アンプで駆動します。PMC8 SUB と同じ設定選択肢があり、本機のリアパネル上で、またはブラウザベースの SoundAlign ソフトウェアを用いて、LAN 接続したタブレットやスマートフォンやコンピューターからアクセス可能です。

本機はマルチチャンネル / イマーシブシステム向けのスタンドアローンのサブウーファーとして、あるいは PMC6-2 または PMC8-2 モニターと組み合わせる XBD キャビネットとして使用でき、驚異的なパワーとダイナミックレンジを持つシステムを生み出すことができます。本機には左側および右側キャビネットバージョン（PMC8-2 SUB-L、PMC8-2 SUB-R）が用意されていますので、メインモニターの配置に合わせてステレオアレーの外側端にベースドライバーを持ってくることができます。

- 8" ベースドライバー 2 個と ATL™ ベースローディングを備えたアクティブサブウーファー
- 周波数特性：25 Hz ～ 500 Hz（-3 dB、1 m フルスペース、軸上にて）
- 最大連続音圧レベル：1 m 位置にて 115 dB（ハーフスペース測定から +3 dB として算出したクオータースペース値。非聴感補正入力、12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間）
- 最新鋭のクラス D アンプ：LF 400 W × 2
- アナログ /AES3 デジタル入力（16/24 ビット、18 ～ 192 kHz サンプルレート）
- デジタル「スルー」出力（AES3 24 ビット、96 kHz）
- 単一またはグループ EQ および設定用の SoundAlign ネットワーク制御インターフェース
- 洗練された DSP ドライバー保護、EQ、ディレイ / 極性選択
- 専用の XBD 設定モード



PMC8-2 SUB
（左側）

PMC8-2 SUB
（右側）

PMC
STUDIO

PMC6 XBD
PMC6-2 XBD
PMC8-2 XBD

PMC6 XBD
（左側）

PMC6-2 XBD
（左側、専用 19" スタンド上）

PMC8-2 XBD
（左側、専用 19" スタンド上）

CREATING AN XBD SYSTEM

PMC のサブウーファーユニットを追加することで、PMC6、PMC6-2、PMC8-2 はツインキャビネットの XBD モニターシステムとして簡単に再構成が可能です。この馴染みのある柔軟なフォーマットはフルレンジのスピーカーとサブウーファーを組み合わせて、大きな利点のある完璧に一体化されたシステムとなります。PMC6 の場合、出来上がる XBD モニターの低域レスポンスは 25 Hz まで拡張されます――本格的ミッドフィールドモニターの性能を持つコンパクトなシステムになり、3 ウェイデザインのスピーカーとなります。中低域ドライバーは最低周波数を扱わなくなりますので、歪が低減され中域のクリアさが高まり、ボーカルは臨場感と深みをさらに増します。PMC6-2 または PMC8-2 を XBD システムとして構成すると、メインスピーカーのベースドライバーの低音出力が強化され、25 Hz までヘッドルームが高まり、余力を豊富に備えたシステムが生まれます。

XBD システムを構成するのは簡単です――入力をメインモニターに直接つなぎ、メインモニターの出力をサブウーファーに送る AES3 デジタルケーブルを 1 本追加するだけです。専用の「XBD」モードを選ぶと DSP が 2 つのユニットを単一の大型モニターになるようにシームレスに組み合わせます。さらに細かい設定はリアパネルのコントロールから、あるいは直感的に使えるブラウザベースの SoundAlign ソフトウェアを用い LAN 接続を介して行えますが、その際この 2 台のスピーカーは単一の XBD ユニットとして表示されます。

“ エンジニアによってエンジニアのために設計された精密ツール ”

ユーザーが Dolby Atmos Music フォーマットの限界に挑戦できるように PMC は究極のモニタリングソリューションとサポートを提供します。PMC のプロフェッショナルアクティブモニタースピーカーは Dolby の仕様要求を超えており、他に類を見ない経験を持っています。

PMC は様々なサイズとフォーマットで高解像度モニターを多数取り揃える世界的リーダーです。PMC のプロフェッショナルアクティブモニターは音色の特性とディスパージョンが同一であるため、完全にシームレスにミックスとマッチすることができます。――違いはキャビネットのサイズとそれに応じた低音の伸びだけです。PMC モニターは統一された音場を創出すべく極めて広い指向性を持つように設計されており、個々の音像をサウンドステージ内に正確に配置し、調整することができます。

ほとんどのイマーシブサウンドシステムはサラウンドチャンネルとハイトチャンネル用のベースマネジメントを採用して、低域周波数を 1 台または複数のサブウーファーにクロスオーバーさせます。この点に関しては PMC モニターには他のデザインに対する明確な利点があります。それは PMC 独自の ATL™ ベースローディング技術が従来のポート式キャビネットよりも穏やかな低次低域ロールオフを提供するというものです。これによってハイトおよびサラウンドチャンネルとサブウーファーとの間の円滑でシームレスな一体化が可能になります。

上に述べたことは Dolby Atmos Music システムのために PMC を選択すべき数ある理由の 2 つに過ぎません。世界中にある PMC のデモンストレーション施設では Dolby Atmos が提供するあらゆることを体験でき、そこではユーザーのスタジオにとって最良かつ最も効率の高いソリューションを担当者がご案内しております。

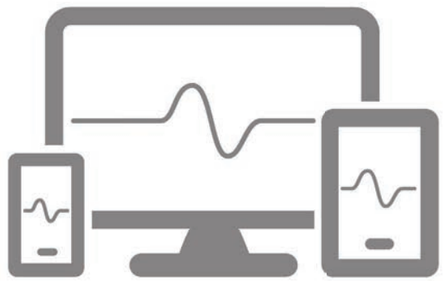
SOUND**ALIGN**

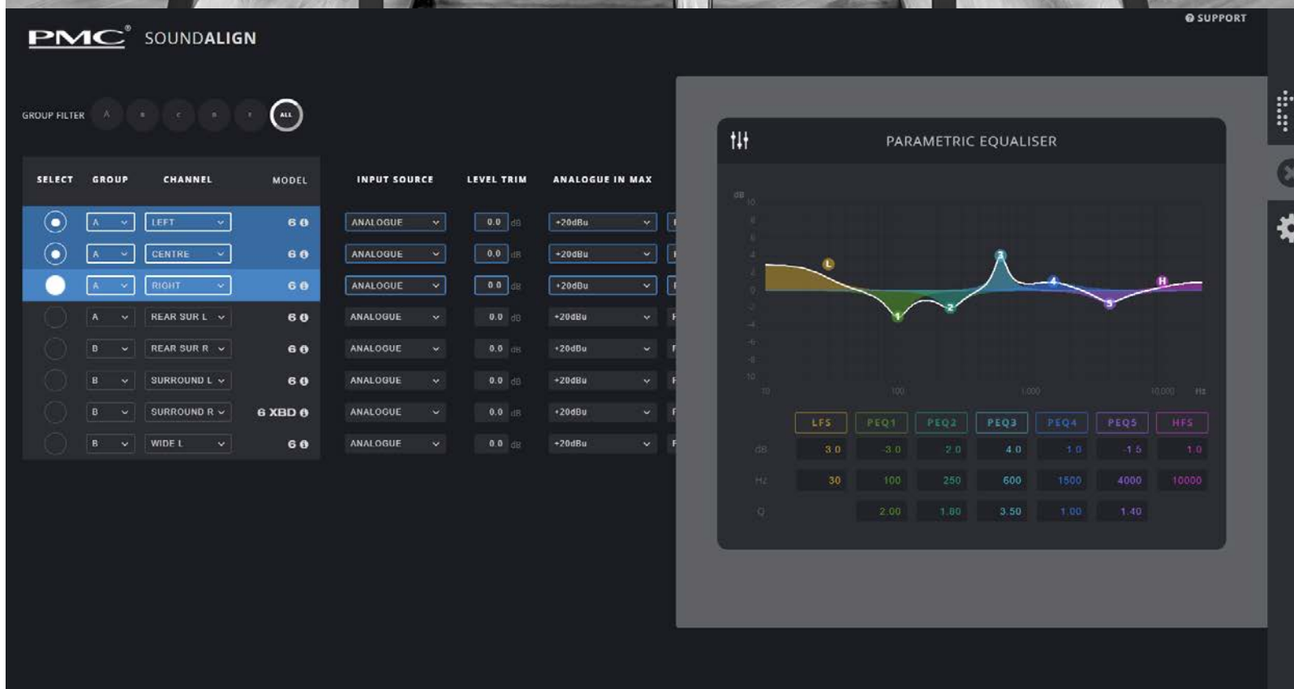
SoundAlign ウェブインターフェースは PMC のニアフィールドおよびミッドフィールド・アクティブ DSP モニター（そして 2 機種の関連サブウーファー）を制御・設定する直感的でレスポンシブな手段です。各モニタースピーカーは、標準的な有線イーサネット接続を介してスマートフォンやタブレットや PC/Mac 上の一般的なウェブブラウザを使ってアクセス可能なウェブサーバーを搭載しています。

スピーカーは個々に、あるいは複数台（最大 16 台）の定義されたグループでコントロールでき、各 DSP メニュー機能とパラメーターを表示・調節可能で、設定を保存してプリセットとして瞬時に呼び出したり、スピーカー間でコピーすることができます。入力フォーマットとレベルやバウンダリーモード補正、ディレイ、極性の設定機能があり、5 つのパラメトリックバンドとハイ / ローシェルフセクションを提供するインタラクティブなグラフィカル表示を備えた EQ セクションも搭載しています。

SoundAlign インターフェースは必要に応じて選択したすべてのスピーカーに新しいファームウェアを簡単にアップロードすることができ、グループフィルターモードではスピーカーの設定済みサブセットを他のグループから完全に独立して表示・制御することができます——複雑なマルチルームの設備やマルチチャンネルのスピーカーアレーに最適な機能です。

専用のネットワークは不要です—— SoundAlign のデータは他のネットワークトラフィックと共存できますので、スピーカーを標準的な LAN に接続することができます（インターネットへのアクセスも不要です）。あるいは、個々のスピーカーは標準的なイーサネットケーブルを PC や Mac のイーサネットポートに直接つないで、またはリアパネル上のコントロールを用いて設定可能です。





ATL™

Advanced Transmission Line

TECHNICALLY& SONICALLY SUPERIOR BASS

ATL™ ベースローディング技術はポート式あるいは密閉型のモニターと比較して以下の点で優れています：

- カラーレーションのない優れた低域の伸び
- あらゆるリスニング音量において同じ音色バランス
- 高い音圧レベルでもコンプレッションやリスナーの疲労がない
- より高い効率
- 真の意味で正確なレスポンスが得られる

PMC 社独自の ATL™（Advanced Transmission Line）エンクロージャーは洗練されたキャビネット構造や独自のドライブユニット、特許取得済み吸音材と技法を用いてスピーカーデザインを最高レベルに引き上げました。そのメリットは、現在入手可能な比較的シンプルな密閉型やポート式のデザインに比べて非常に大きいです。

PMC の革新的なアプローチでは長い空洞である ATL™（Advanced Transmission Line）の片方の端近くにベースドライバーを配置します。この空洞はベースドライバー背面から放射される高めの低音ならびにそれよりも高い周波数を吸収するように入念に指定された音響材を用いて厳重にダンプされています。極めて低い周波数のみがこのラインを通り抜けることができ、前面の大きな通気口にドライバーの直接放射と同じ極性で現れ、事実上この開口部は第二のベースドライバーとして機能します。

このアプローチの重要な利点はベースドライバーに負荷をかけるキャビネット内の気圧が一定に保たれることです。これはドライバー制御を広範な周波数範囲にわたって保つことに役立ち、低域の歪を著しく低減します。その結果、高めの低音と中域のディテールが高調波歪によってマスクされることがなくなり、PMC の特徴とも言える透明な中域や素早くダイナミックな低域、そして卓越したクリアさが得られます。

ATL™ デザイン方法のさらなる長所は、似たようなサイズとドライバー仕様を持つ一般的なポート式または密閉型デザインと較べて、低音が低くまで伸びることと高い SPL 能力を持っていることです。

さらに、ベースドライバーの負荷が極めて安定していることは、リスニングの音量とは無関係に周波数特性が一定に保たれ、適切な低域レスポンスを得るために再生音量を高める必要なしに分析的な試聴を行えるという恩恵ももたらします。あらゆる出力レベルにおけるこの音色の一貫性こそ PMC スピーカーのユニークかつ極めて貴重な特徴です。

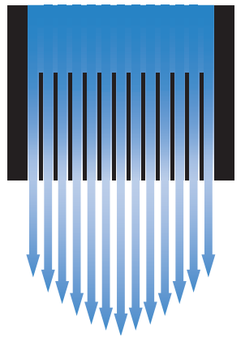
Laminair™

ENGINEERING THE AIR ITSELF

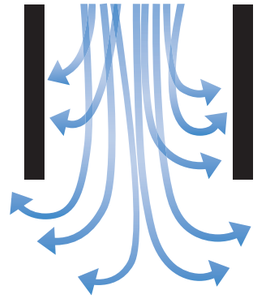
PMC の総合的な設計プロセスにより、モニターの各部の物理的特性を徹底的に研究しています。PMC のパワフルな Studio ドライバーはトランスミッションラインの排気口に高速な空気の動きを発生させますが、入念に分析してみると、制御されない場合はこのフローは抵抗性を持ったり乱流となることが判明しました。これはエネルギーを無駄にして、また PMC の超低ノイズデザインならば聴いて分かるようなカラーレーションを生じさせることになります。

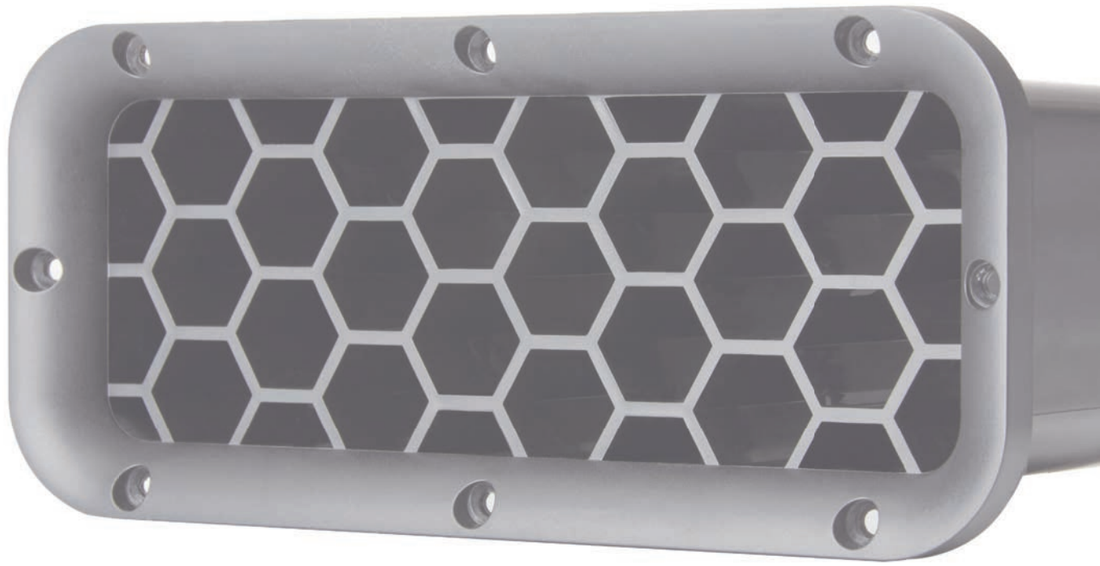
これに対処すべく、特徴的な六角形の通気口として PMC6、PMC6-2、PMC8-2 に見ることができる Laminair™ 技術が、制御された層状のエアフローを生み出します。これによって素早く正確なタイミングの高精細の低音と、可能な限り広いダイナミックレンジが得られます。

Laminair™ によって整流された効率の良いエアフロー



Laminair™ のない ATL™ 開口部での乱れたエアフロー





PMC
PMC

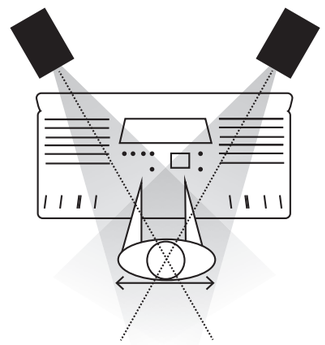
SUPREME HIGHS & MIDS

PMC のソフトドーム・ミッドレンジドライブユニットへの世界的な高評価は、3 ウェイのミッドフィールドモニター PMC6-2 と PMC8-2 に用いている PMC55 2" ドライバーによってさらに高まりました。この革新的なユニットは PMC のプロフェッショナルメインモニター（IB2、MB3、BB6、QB1）内で用いられている有名な 3" PMC75 ミッドレンジドライバーの進化形であり、コンパクトなアクティブニアフィールド / ミッドフィールドスピーカー用に最適化されています。

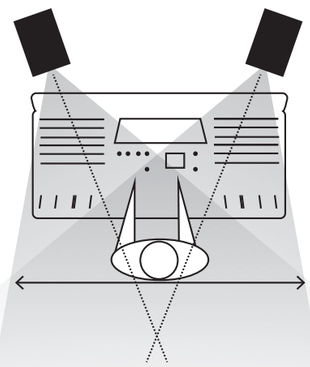
PMC55 ユニットの前面は独創的な設計の二重形状ウェーブガイドを備え、その指数カーブの基本形状は低域の拡張性を高め、また独特な双曲面を持つ構造部は滑らかで幅広いディスパージョンを確保しています。この 2 つの形状は連動して、軸上・軸外の両方でスムーズかつ一貫性のある周波数特性と共に、完璧にマッチしたディスパージョン角を両方のクロスオーバー領域に作り出し、広いリスニングスイートスポットならびに安定した立体音場を確実なものとします。

ミッドレンジドームの後部は、ダイアフラムへの背圧を最小限に抑え内部反射を低減する吸音処理済みアコースティックチェンバーに通気するようになっています。この利点は低周波数帯域幅が広がることと優れたトランジェントレスポンスにあります。これらの特性を組み合わせることで、ウーファーとのシームレスな統合と明確さ、奥行き、そして極めて躍動的な中域でのマイクロダイナミクスをもたらします。

PMC のアクティブモニターはどのモデルも 1" のシルク製ドームツイーターを採用し、極めて高い音圧レベルであっても透明な低歪サウンドを提供するための同じ設計哲学と音色の特徴を共有します。PMC8-2 のツイーターは、より高いサーマルパワーハンドリングならびに 5 dB 高い SPL 能力を得るために、より大型のモーターアセンブリを持っています。このツイーターは PMC55 ミッドレンジユニットあるいは Studio6 ベースユニットとの完璧な組み合せが得られるように、ディスパージョンを最大限に広げる、精密加工された浅いウェーブガイド内に取り付けられています。



従来のモニターは正確なリスニングエリアの幅を
制限する狭いディスパージョンを持ちます



PMC のモニターは可能な限り広いリスニング
エリア全体にわたって正確なサウンドを提供する
広いディスパージョンを持ちます

LOW DOWN & CLEAN

この PMC アクティブ・ニア / ミッドフィールドモニターの各要素は特にこの用途のために新設計されています。そして、大きさからは想像できないほどの高性能をこのモニターにもたらしている極めて重要な面の 1 つが、カスタムデザインされたベースドライバーです。

Studio6 および Studio8 ウーファーは Laminair™ 通気口を持つ独自の ATL™ キャビネット設計の最新進化と並行して開発されました――これらの技術は固く結び合った一体として作られなくてはならないほど複雑に相互作用します。その結果、並外れてコンパクトなキャビネットがもたらすパフォーマンスや奥行き、ダイナミクスとディテールに新たなスタンダードが確立されました。

この革新的なドライブユニットのデザインの基礎にあるのが、極めて長いボイスコイルを持つ二段重ねのマグネットならびに堅牢な二重スパイダーサスペンションからなる、どっしりとした、通気孔付きモーターアセンブリです。これらのコンポーネントは一体となって大きなピストン可動域全体にわたって常時リニアな駆動力を保ち、あらゆるリスニング音量において極めて自然な低歪サウンドを確実に得られるようにします。

このドライバーの前面は外気との音響カップリングを最適化する滑らかな連続形状を有し、背面の第二の接着層は極めて硬くまた充分にダンプされた理想的な構造となっています。この入念に開発されたデザインはドライバーの動作帯域幅をクロスオーバー領域を超えて 2 オクターブ以上広げ、これにより従来のウーファー設計よりもはるかに低い歪ならびに優れたトランジェント応答を持つ非常にクリーンでニュートラルかつ正確な中域が確保されます。

PMC の Studio6 ベースドライバーは大半の 8" モニターを凌駕しており、コンパクトな PMC6-2 スピーカーでも、33 Hz までの圧倒的な低音の伸びを実現します。より大きな 8" の Studio8 ユニットは同じ技術を採用していますが、より大きな可動域、さらに高い最大音圧レベルを持ち、PMC8-2 とサブウーファーに 25 Hz までの低域の伸びを提供します。

POWER, CONNECTIONS & CONTROL

PMC6、PMC6-2、PMC8-2 モニターの各ドライバーは PMC の次世代 DSP 制御クラス D アンプによって個別に駆動されます。スピーカーのドライバー自体と同様に、このアンプは最大限の透明度と解像度を高ダンピングファクタと超低歪と共に得るための第一原理に基づいて設計されており、あらゆるリスニング音量においてフラットな周波数特性を実現しています。

PMC6 の場合、各ドライブユニットは専用の 200 W アンプで駆動され、最大限の柔軟性と制御を提供します。個別増幅によって相互変調はごく僅かなレベルに抑えられます。PMC6-2 と PMC8-2 ではアンプパワーは 4 つのドライブユニットそれぞれについて倍の 400 W、スピーカー毎では莫大な 1600 W となり、過渡的ピークをクリッピングすることなく、驚異的なダイナミクスを実現します。

極めてパワフルではありますが、アンプとスピーカークロスオーバーを制御するこの最新鋭の 32 ビット DSP は、すでに最先端を行っているデザインが生み出すパフォーマンスを巧妙に操っているに過ぎません。ドライバーは入念にタイムアラインされており、疲れさせない究極の軸上 / 軸外応答を得るべく 24 dB/oct. 倍精度フィルターを介して位相補正されています。PMC ならではの音色にムラのない幅広いディスパージョンを保証する他に、この DSP は可動域制限による動作の穏やかなドライバー保護も提供し、またユーザーがブラウザベースの SoundAlign ソフトウェアを使って自分自身の好みや要件に合わせてカスタムな EQ バランスを作成・保存できるようにします。

リアパネルは制御回路と増幅回路を収容するだけではなく優れた接続能力も提供し、アナログ入力とデジタル入力（16/24 ビット AES3、18 ～ 192 kHz サンプルレート）やネットワーキング用 RJ-45、AES3 デジタル出力（固定 24 ビット @96 kHz）を備えます。また、将来的な接続能力のアップグレードのために拡張カードスロットも設けてあります。

PMC6

タイプ	ATL™ 搭載 アクティブ 2 ウェイ・ニアフィールド・リファレンスモニター
ドライブユニット	LF PMC 150 mm（6"）Studio6 ドライバー HF PMC 27 mm（1"）ソフトドームツイーター
ATL™ 有効長	1.8 m
周波数特性	39 Hz ～ 25 kHz（-3 dB @1 m フルスペース、音響軸上）
感度	+4 dBu 入力信号＝ 1 m 位置にて 98 dB の音圧レベル
最大音圧レベル	106 dB @1 m ※フルスペース測定から +3 dB として算出されたハーフスペース値。12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間
最大瞬間音圧レベル	118 dB @1 m ※フルスペース測定から +3 dB として算出されたハーフスペース値。12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間
指向性	H ± 60 度 V +50/-40 度（-6 dB off axis @10 kHz）
入力	XLR でアナログとデジタルの AES3 を切り替え可能 **アナログ入力** - 最大入力レベル +20/+24 dBu（選択式） - 入力インピーダンス 22 k Ω **デジタル入力** - L、R または L+R の 16/24 ビット AES3 信号 - サンプルレート 18 ～ 192 kHz - 入力インピーダンス 110 Ω **拡張カードスロット** - 将来の接続機能向上用
出力	XLR デジタル AES3（固定 24 ビット @96 kHz）
ネットワーク	PMC SoundAlign ウェブインターフェースで用いる RJ45
機能	レベルトリム（± 10 dB） オリエンテーション（ポートレート、ランドスケープ、オート） ハイパスフィルター（20 ～ 200 Hz、12 dB/oct.） ディレイ（0 ～ 30 ms） 位相（通常または逆転） LF & HF シェルビングフィルター（20 Hz ～ 20 kHz、± 10 dB、Q 0.707） パラメトリック EQ（5 バンド、20 Hz ～ 20 kHz、± 10 dB） ユーザープリセット（3 ＋ファクトリーデフォルト）
遅延	2.4 ms
チャンネルごとのアンプパワー	LF 2 x 400Wrms、MF 1 x 400Wrms、HF 1 x 400Wrms
電源	AC100–240 V 自動切替、50/60 Hz（IEC C14）
消費電力（アイドル時）	35 W
消費電力（最大時）	400 W
寸法	ポートレート H400 × W215 × D372 mm ランドスケープ H215 × W400 × D372 mm
重量	11.1 kg（1 台）
仕上げ色	ブラック

PMC6-2

タイプ	ATL™ 搭載 アクティブ 3 ウェイ・ニアフィールド・リファレンスモニター
ドライブユニット	LF PMC 150 mm（6"）Studio 6 ドライバー× 2 MF PMC 55 mm（2"）ソフトドームミッドレンジ HF PMC 27 mm（1"）ソフトドームツイーター
ATL™ 有効長	2 m
周波数特性	33 Hz ～ 25 kHz（-3 dB @1 m フルスペース、音響軸上）
感度	+4 dBu 入力信号 = 98 dB SPL @ 1 m
最大音圧レベル	109 dB @ 1 m ※フルスペース測定から +3 dB として算出されたハーフスペース値。12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間
最大瞬間音圧レベル	118 dB @ 1 m ※フルスペース測定から +3 dB として算出されたハーフスペース値。12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間
指向性	H ± 60 度 V +50/-40 度（-6 dB off axis @10 kHz）
入力	XLR でアナログとデジタルの AES3 を切り替え可能 **アナログ入力** - 最大入力レベル +20/+24 dBu（選択式） - 入力インピーダンス 22 k Ω **デジタル入力** - L、R または L+R の 16/24 ビット AES3 信号 - サンプルレート 18 ～ 192 kHz - 入力インピーダンス 110 Ω **拡張カードスロット** - 将来の接続機能向上用
出力	XLR デジタル AES3（固定 24 ビット @96 kHz）
ネットワーク	PMC SoundAlign ウェブインターフェースで用いる RJ45
機能	レベルトリム（± 10 dB） ハイパスフィルター（20 ～ 200 Hz、12 dB/oct.） ディレイ（0 ～ 30 ms） 位相（通常または逆転） LF & HF シェルビングフィルター（20 Hz ～ 20kHz、± 10 dB、Q 0.707） パラメトリック EQ（5 バンド、20 Hz ～ 20 kHz、± 10 dB） ユーザープリセット（3 ＋ファクトリーデフォルト）
遅延	2.4 ms
チャンネルごとのアンプパワー	LF 400 Wrms × 2、MF 400 Wrms × 1、HF 400 Wrms × 1
電源	AC100–240 V 自動切替、50/60 Hz（IEC C14）
消費電力（アイドル時）	50 W
消費電力（最大時）	1500 W
寸法	H400 × W430 × D372 mm
重量	21.3 kg（1 台）
仕上げ色	ブラック

PMC8-2

タイプ	ATL™ 搭載 アクティブ 3 ウェイ・ニアフィールド・リファレンスモニター
ドライブユニット	LF PMC 200 mm（8"）Studio 8 ドライバー× 2 MF PMC 55 mm（2"）ソフトドームミッドレンジ HF PMC 27 mm（1"）ソフトドームツイーター
ATL™ 有効長	3 m
周波数特性	25 Hz ～ 25 kHz（-3 dB、1 m フルスペース、音響軸上にて）
感度	+4 dBu 入力信号 = 98 dB SPL @ 1 m
最大音圧レベル	113 dB @1 m ※フルスペース測定から +3 dB として算出されたハーフスペース値。12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間
最大瞬間音圧レベル	125 dB @1 m ※フルスペース測定から +3 dB として算出されたハーフスペース値。12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間
指向性	H ± 60 度 V +50/-40 度（-6 dB off axis @10 kHz）
入力	XLR でアナログとデジタルの AES3 を切り替え可能 **アナログ入力** - 最大入力レベル +20/+24 dBu（選択式） - 入力インピーダンス 22 k Ω **デジタル入力** - L、R または L+R の 16/24 ビット AES3 信号 - サンプルレート 18 ～ 192 kHz - 入力インピーダンス 110 Ω **拡張カードスロット** - 将来の接続機能向上用
出力	XLR デジタル AES3（固定 24 ビット @96 kHz）
ネットワーク	PMC SoundAlign ウェブインターフェースで用いる RJ45
機能	レベルトリム（± 10 dB） ハイパスフィルター（20 ～ 200 Hz、12 dB/oct.） ディレイ（0 ～ 30 ms） 位相（通常または逆転） LF & HF シェルビングフィルター（20 Hz ～ 20 kHz、± 10 dB、Q 0.707） パラメトリック EQ（5 バンド、20 Hz ～ 20 kHz、± 10 dB） ユーザープリセット（3 ＋ファクトリーデフォルト）
遅延	2.4 ms
チャンネルごとのアンプパワー	LF 400 Wrms × 2、MF 400 Wrms × 1、HF 400 Wrms × 1
電源	AC100–240 V 自動切替、50/60 Hz（IEC C14）
消費電力（アイドル時）	50 W
消費電力（最大時）	1500 W
寸法	H534 × W551 × D440 mm
重量	39 kg（1 台）
仕上げ色	ブラック

PMC8 SUB

タイプ	8" ベースドライバー 1 基と ATL™ を備えたアクティブサブウーファー
ドライブユニット	LF PMC 200 mm（8"）studio 8 ドライバー
ATL™ 有効長	3 m
周波数特性	25 Hz ～ 500 Hz（-3 dB、1 m フルスペース、音響軸上）
感度	+4 dBu 入力信号 = 98 dB SPL @ 1 m
最大音圧レベル	109 dB @1 m ※ハーフスペース測定から +3 dB として算出されたクオータースペース値。12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間
最大瞬間音圧レベル	121 dB @1 m ※ハーフスペース測定から +3 dB として算出されたクオータースペース値。12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間
入力	XLR でアナログとデジタルの AES3 を切り替え可能 **アナログ入力** - 最大入力レベル +20/+24 dBu（選択式） - 入力インピーダンス 22 k Ω **デジタル入力** - L、R または L+R の 16/24 ビット AES3 信号 - サンプルレート 18 ～ 192 kHz - 入力インピーダンス 110 Ω **拡張カードスロット** - 将来の接続機能向上用
出力	XLR デジタル AES3（固定 24 ビット @96 kHz）
ネットワーク	PMC SoundAlign ウェブインターフェースで用いる RJ45
機能	レベルトリム（± 10 dB） ハイパス / ローパスフィルター（20 ～ 200 Hz、12 dB/oct.） ディレイ（0 ～ 30 ms） 位相（通常または逆転） LF & HF シェルビングフィルター（20 Hz ～ 20 kHz、± 10 dB、Q 0.707） パラメトリック EQ（5 バンド、20 Hz ～ 20 kHz、± 10 dB） ユーザープリセット（3 ＋ファクトリーデフォルト）
遅延	2.4 ms
チャンネルごとのアンプパワー	300 Wrms
電源	AC100–240 V 自動切替、50/60 Hz（IEC C14）
消費電力（アイドル時）	25 W
消費電力（最大時）	300 W
寸法	H266 × W551 × D440 mm
重量	18.5 kg（1 台）
仕上げ色	ブラック

PMC8-2 SUB

タイプ	8" ベースドライバー 2 基と ATL™ を備えたアクティブサブウーファー
ドライブユニット	LF PMC 200 mm（8"）Studio 8 ドライバー× 2
ATL™ 有効長	3 m
周波数特性	25 Hz ～ 500 Hz（-3 dB @1 m フルスペース、音響軸上）
感度	+4 dBu 入力信号 = 98 dB SPL @ 1 m
最大音圧レベル	115 dB @1 m ※ハーフスペース測定から +3 dB として算出されたクオータースペース値。12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間
最大瞬間音圧レベル	127 dB @ 1 m ※ハーフスペース測定から +3 dB として算出されたクオータースペース値。12 dB クレストファクタの 20 Hz ～ 20 kHz ピンクノイズ（IEC）、AES2-1984 に定める 2 時間の検査時間
入力	XLR でアナログとデジタルの AES3 を切り替え可能 **アナログ入力** - 最大入力レベル +20/+24 dBu（選択式） - 入力インピーダンス 22 k Ω **デジタル入力** - L、R または L+R の 16/24 ビット AES3 信号 - サンプルレート 18 ～ 192 kHz - 入力インピーダンス 110 Ω **拡張カードスロット** - 将来の接続機能向上用
出力	XLR デジタル AES3（固定 24 ビット @96 kHz）
ネットワーク	PMC SoundAlign ウェブインターフェースで用いる RJ45
機能	レベルトリム（± 10 dB） ハイパス / ローパスフィルター（20 ～ 200 Hz、12 dB/oct.） ディレイ（0 ～ 30 ms） 位相（通常または逆転） LF & HF シェルビングフィルター（20 Hz ～ 20 kHz、± 10 dB、Q 0.707） パラメトリック EQ（5 バンド、20 Hz ～ 20 kHz、± 10 dB） ユーザープリセット（3 ＋ファクトリーデフォルト）
遅延	2.4 ms
チャンネルごとのアンプパワー	400 Wrms × 2
電源	AC100–240 V 自動切替、50/60 Hz（IEC C14）
消費電力（アイドル時）	50W
消費電力（最大時）	800W
寸法	H534 × W551 × D440 mm
重量	37.5 kg（1 台）
仕上げ色	ブラック

仕様・外観は予告なく変更されることがあります。
日本語版作成：オタリテック株式会社（2021 年 10 月）

© 2021,The Professional Monitor Company Limited. All rights reserved.

SoundAlign and Laminair are trade marks of The Professional Monitor Company Limited

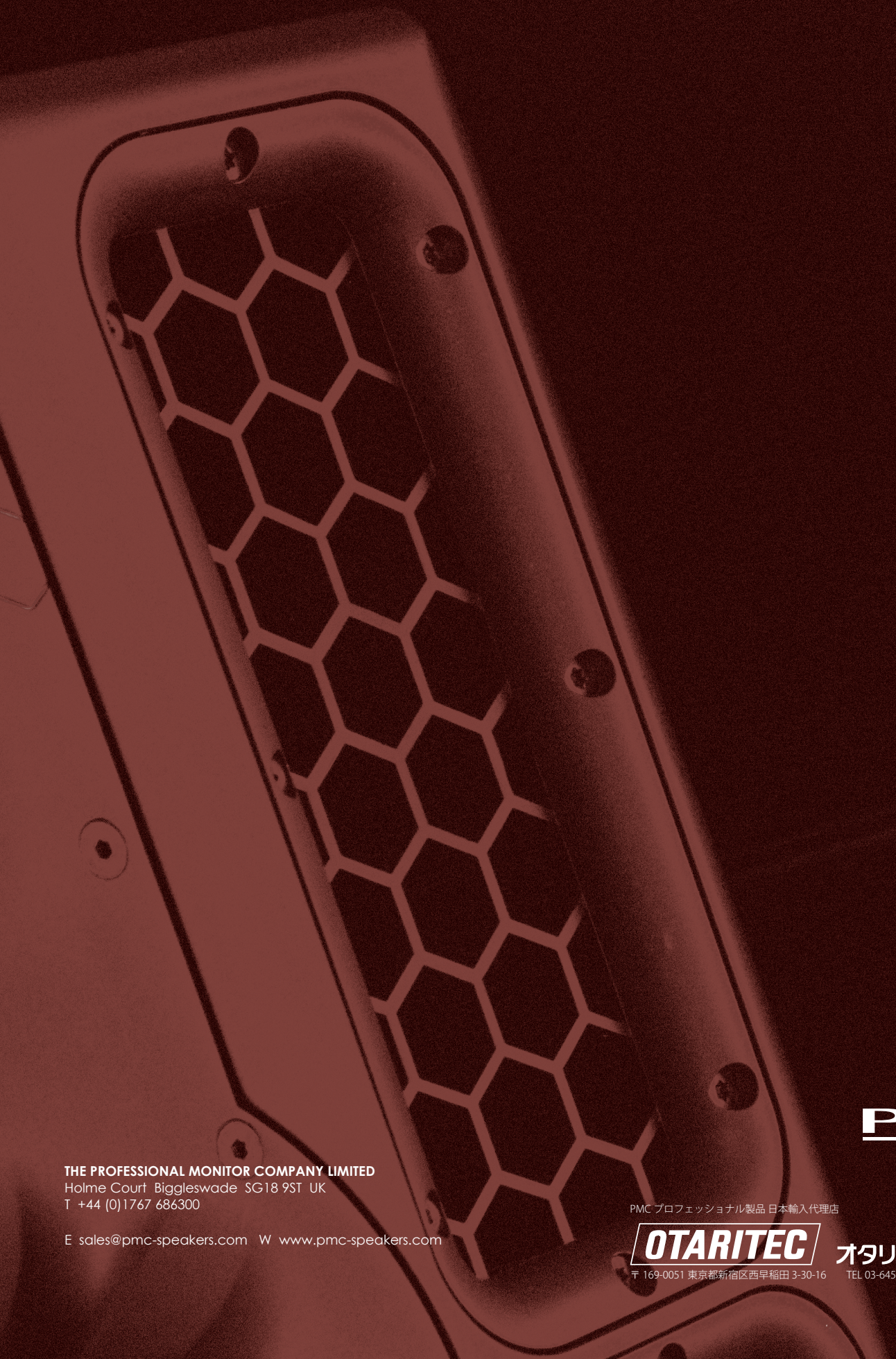
Dolby® and Dolby Atmos are registered trademarks of Dolby® Laboratories

This document should not be construed as a commitment on the part of The Professional Monitor Company Limited (PMC). The information it contains is subject to change without notice. PMC assumes no responsibility for errors that may appear within this document. Information subject to change.

This document should not be construed as a commitment on the part of The Professional Monitor Company Limited. The Professional Monitor Company Limited will not assume responsibility for errors that may appear in this document. Information may be subject to change.

Copyright ® 2021. All rights reserved.

VIEW THE PRODUCTS ONLINE



PMC®

THE PROFESSIONAL MONITOR COMPANY LIMITED
Holme Court Biggleswade SG18 9ST UK
T +44 (0)1767 686300

E sales@pmc-speakers.com W www.pmc-speakers.com

PMC プロフェッショナル製品 日本輸入代理店

OTARITEC オタリテック株式会社
〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 3-30-16 TEL 03-6457-6021 www.otaritec.co.jp